

科目・コース（ユニット）名： 基礎臨床統合 1
英語名称：Foundations of integrated clinical medicine

【担当責任者】亀岡弥生（総合科学教育研究センター）、永福智志（システム神経科学講座）

【連絡先】igakukyo@fmu.ac.jp

【開講年次】2 年, 【学期】通年, 【必修／選択】必修,

【授業形態】演習

【概要】1・2 年生で学ぶ基礎医学の知識が疾患理解に深く繋がることを意識してきただろうか。病態生理のほとんどはこれまで学んだ基礎医学の知識で説明できる。この科目では、common diseases の病態生理を、これまで学んだ基礎医学の知識を統合し考える思考回路を構築することを目指す。

【学習目標】

1. 症状（呼吸困難、喘鳴等）発現の機序を、生理学的・病理学的に説明することができる。
2. 身体所見異常の成立機序を、生理学的に説明することができる。
3. 検査所見（胸部 X 線、心機能指標、心電図、血液ガス、スパイログラム、炎症所見、病理所見）を評価し、そこから読み取れる病態を説明することができる。
4. 病態と関連付けて治療薬を挙げ、それぞれの作用機序を説明できる。
5. 他者と協働し、考えをまとめることができる。

【教科書】

- ・解剖学、組織学、生理学、薬理学、免疫学、病理学、生化学の履修時に用いた教科書
- ・内科学（朝倉書店）

【参考書】

「ハマー&マクフィー 疾患の病態整理—臨床医学入門」国分眞一郎・中山智祥監訳 丸善出版

【成績評価方法】

原則として全授業への出席を求めるが、履修規定に則り、単位認定には三分の二以上の出席が必要。

その上で、以下により評価する。

- ① 事前学修及び事後学修課題の提出状況
- ② 授業冒頭の事前学修確認テスト及び疾患ごとの到達度確認テスト
- ③ グループベストアンサーの内容
- ④ 授業態度（発表・質疑応答・遅刻の有無など）

なお、ガイダンスにおいて、詳細を配布する。

【学習上の注意事項】

授業前に提示される事前課題には、時間的余裕を持って取り組んで、自分の言葉で記述して欲しい。なお、試事前課題の解答は、授業後に修正を加えてブラッシュアップできるよう、word に打ち込んでおくのが望ましい。

【垂直的統合授業の実施内容】

内科学で取り扱う疾患の病態を、基礎医学の視点と臨床家の視点の両方から解説する。

【水平的統合授業の実施内容】

一つの疾患の病態生理を説明するために、複数の基礎医学領域の知識を統合して考え、説明する必要がある。

【授業スケジュール】

ガイダンスは第2講義室、その他は12号館3階自習室で行う。

回数	年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名	
1	2026/5/8	金	6	(講) ガイダンス	亀岡弥生	
2	2026/5/29	金	2-3	(演) 心不全	永福智志 及川雅啓	[ファシリテータ] 安井清孝 亀岡弥生
3	2026/6/5	金	2-3			
4	2026/7/1	水	4-5	(演) 心電図		
5	2027/1/18	月	2-3	(演) 喘息	永福智志	
6	2027/1/19	火	2-3		橋本優子	
7	207/1/21	木	4-5		斎藤純平	

【担当教員】

教員氏名	職	所属
永福智志	教授	システム神経科学講座
及川雅啓	准教授	循環器内科学講座
橋本優子	教授	病理病態診断学講座
斎藤純平	准教授	呼吸器内科学講座
安井清孝	助教	医療人育成・支援センター
亀岡弥生	教授	総合科学教育研究センター

【医師として実務経験のある教員による授業科目】 該当する